

げんでんハートフルメッセージ

いきいきと活動する人をご紹介します

Lucky FM茨城放送で
毎日7時、12時、16時台に放送中



佐藤石炭代表

佐藤 丈 (さとうたける) / 東海村

私は東海村で石炭販売を行っている佐藤石炭に昭和五十三年に生まれました。石炭は今では聞きなれない言葉ですが、当時は貴重な燃料として使われていました。黒いダイヤとも言われていたらしいです。正直私も見た事はあっても燃やして使った事はありません。

人は石炭、薪などに火をつけ、火吹き棒でフーシューしながらお湯を沸かし、恐る恐る五右衛門風呂に入っていた事は忘れ、今では蛇口を捻ればお湯が出て、ボタン一つでお風呂に湯が貯まる便利な時代と共に、ガス、石油へと移行してきました。目まぐるしく変わる時、最近では言葉じやなくSNSの文字で、伝える事が増えました。私も便利によく使います。仕事柄現場に出向く、お客様と言葉を交わ

す事が殆どの私です。その中で「いつもありがとね」「いいえ、こちらこそいつもありがとね」といいます」「言葉を変えようがとね」といいます。時には「石炭の頃からの付き合いね、いつもありがとね」と。「こちらこそ何十年もお付き合い、ありがとね」といいます」「お客様には心から感謝です。文字は頭で考えた事で、言葉とは心から出るものですね。(すべてではないですが…)私の仕事は暖かい生活のサポートです。

お客様から「快適をありがとね」と言われた時は私の心も暖かきて一杯です。その暖かさに助けられ操業六十四年。これからも古き良き人と人の繋がりを大切にしていかに参ります。今後ともどうぞよろしくお願いします。『毎度ありがとね、ふんふん』

「ありがとう」に「ありがとう」

東日本大震災の時は、ライフラインが途絶えた中、消防団員として習日から炊き出しを手伝いながら地域の大変な状況を目の当たりにし、自分の身は自分で守る備えが必要だと痛感し、また困難な状況の中、少しでも自分が出来る事を増やしたく、いばらき防災大学を受講、防災士の資格を取得しました。

その後、各自自治会に自主防災組織が立ち上がり、自助共助の重要性を感じる所となり、平成三十年那珂市防災士の会が設立されま

のひとつである救命講習には、多くの市民に受講していただきたい。勇気を持って一歩踏み出すことで助かる命、守れる命があるので。皆が笑顔で生活できる事が一番です。これから地域と共に安全で安心して暮らせる活動の輪を広げていきたいと思います

日本原子力発電株式会社発行の今年のカレンダー（くらしの備え）には、生活に必要な減災に繋がる内容が解かりやすく作成されていて、毎月二つの防災の知識が身につけられるので素晴らしいです。

那珂市防災士の会会長 那珂市消防団女性分団長

後藤 京子(ごとうきょうこ)/那珂市

今のわたし
身近な防災

した。地域の防災活動への参加、災害発生時の応急対応、地域防災力向上に向けての講演会、マイタイムライン講習会などを行っています。活動量も多



読者の広場

私の休日の過ごし方

たくさんのご応募ありがとうございました。



全国旅行支援を使って、
久々の家族旅行！



今回も美味しく出来ました



糸菓子と茨城名物の秋そばを堪能！



僕はじーちゃんちで
ゆつくり過ごす事かな



茨城の良いところ巡り



ほっと一息つきます！



結婚式の打ち合わせを
しに都内へ!

私の休日の過ごし方を募集

投稿いただいた方の中から抽選で5名の方に「自然薯」をプレゼントします。

〈応募方法〉右のQRコードまたは郵送でご応募ください。

〈郵送先〉〒319-1117 那珂郡東海村東海3-4-1

日本原子力発電(株)「読者の広場」係

〈必須事項〉①私の休日の過ごし方 ②コメント15字程度

〈受付期間〉2023年3月22日(水)まで



私の休日の過ごし方投稿